様式３(2020.06改)

作成日　令和　２年　８月　２３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100722
事業所名	グループホーム安城福釜の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会長や民生委員も運営推進会議のメンバーとなり、陰日向なく気にかけてくださっています。コロナ禍となる前には、川掃除や盆踊り等行事前になると案内も届き、祭りでは子どもたちの神輿も立ち寄ってくださっていましたが、現在は事業所への来訪は控えてもらっています。それでも、管理者が町内会の集まりには出向き、運営推進会議の報告もおこない、関係継続を担保しています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は、行政や地域を交えて隔月開催が慣行されてきましたが、コロナ禍で６月は職員のみで開催、８月もその予定でいます。職員で話し合った内容は議事録としてまとめており、メンバーにも「○月○日までに意見や助言が欲しい」と案内をしていますが、皆で集まるときのようにはゆかず、意見はあがっていません。まとめた議事録は行政に提出しています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	地域包括支援センターとともに安城市高齢福祉課は運営推進会議に揃って出席くださっています。現在集まっての開催はままならず、不明点を事業所から問い合わせると、「他のグループホームでは～」等と状況や情報をくださり、事業所も生活保護者を上限なく受入れて意向に応えています。また実施指導で受けた指摘事項は、職員数の確保に尽力することで管理業務に時間を割くことができるようになり、是正しています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	年3回「福釜だより」を発行しています。個別のコーナーには手書きで本人の様子を綴り、写真も組込み、家族の関心や意見を募っていますが、クリスマス会などイベントに誘っても同じ顔ぶれとなってしまっていることが課題です。面会は自粛中でも、窓越しに会えなくはないのに家族が遠慮してしまい来訪はありません。そのため、電話などで連絡を取り合っています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										